

はちのへエコ大賞

問 環境政策課 43・9265

「はちのへエコ大賞」とは

環境の保全に積極的に取り組んでいる個人または団体の活動を表彰し、市民の皆さんに広くおしらせする制度です。今年で4回目を迎え、これまでもたくさんの活動を応募していただきました。

はちのへエコ大賞 2008 受賞作品の紹介

※対象部門

- ◆…学校の部 (小・中・高)
- ◇…一般の部

■大賞

◆青森県立八戸第二養護学校 高等部◆



就労に向けた作業学習の一つに「着火材」の製作があります。生徒たちも作業工程に慣れ、安定した量を生産できるようになりました。



ほとんどの材料がリサイクル素材です。この活動を多くの人に知ってもらい、本校の教育活動、エコ活動へ理解と協力をいただきたいと思います。

◇コープあおもり 八戸地域環境委員会◇



環境学習会とマイ箸袋づくり講習会を開催し、自分で作った箸袋を持ち歩くことによって割り箸を使わない運動や、廃食用油を使ったせっけんづくりを行っています。

また、レジ袋削減をテーマに、荷造りひもを使ってオリジナルのデザインを施すことのできるマイバッグづくりを楽しみながら行っています。

■奨励賞



◆八戸市立鳩田小学校◆

「昔たくさんいたホタルを呼び戻そう」をテーマに、ホタル池の水質調査・周辺の生物調査を実施。児童と先生、そして保護者が一緒に「ホタル日誌」を記録。



◇株式会社 庄司興業所◇

大気汚染物質の排出量削減のため、排ガス二次規制適合の建設機械や、低排出ガス重量車の新型車両を順次導入し、環境保全に配慮。



◆青森県立八戸南高等学校◆

開校から現在までの約26年間、学校から種差海岸までの清掃活動を実施。鮫地区住民に呼びかけ、地区の意見をもとに清掃場所を決定し、地域と深く連携。

その他の応募者

◆八戸市立是川東小学校◆

攻めの総合学習で環境保全活動

◆八戸聖ウルスラ学院高等学校◆

緑のカーテンで地球温暖化対策

◇北上裕美子 (サークル: にじのわ) ◇

無化学無漂白で体と地球に優しく

◇佐々木鐵夫 (栗沢町町内会長) ◇

自らの環境保全活動を町内会全体へ

◇旭ヶ丘 養命会◇

バス待合所 365日環境美化活動

◇さくら幼稚園◇

綿あめづくりでゴミ減量

エコ大賞について市ホームページでも紹介しています

市トップページ→まちづくり→環境にやさしいまちづくり→環境啓発→はちのへエコ大賞

八戸大学 吉田稔 教授 (人間健康学部 人間健康学科) の審査総評

いずれの活動も質が高く、過去に受賞を受けた活動に匹敵するものであった。学校の部では「八戸第二養護学校 高等部」の先駆性・独創性、「市立鳩田小学校」の自然保護の取り組み、「八戸南高等学校」の26年間にわたって地域を巻き込んで行っている清掃活動を評価した。一般の部では「コープあおもり 八戸地域環境委員会」の楽しみながら行う環境啓発活動、「株式会社 庄司興業所」の低排出ガス重量車の購入という企業の積極的姿勢を評価した。